



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 鈴木 雅之
幹事 斉藤 隆
SAA 鈴木修一郎
会報小委員 浜津 真也

○例会日 毎週水曜日(12:30～13:30) ○事務所 いわき市植田町中央一丁目6番地の9
○例会場 ホテルミドリ TEL 974-8261 ホテルミドリ内
TEL0246-62-3737

世界へのプレゼントになろう

2015～2016年国際ロータリーのテーマ

第 2634 回 例会 平成 28 年 3 月 2 日(水・晴)

ゲスト

福島県骨髄バンク推進連絡協議会

会長 岩城 汀子様
運営委員 志賀 としえ様

◎会長報告 - 佐藤政司副会長

皆さん、今日は。先週は休会でしたので2週間振りの例会になります。今日は3月2日で明日は3日の雛祭りです。今日例会場にゲストの女性がお二人ご来訪されており女性会員がいましたらきっとこんな風に華やかなんじゃないかと思っております。皆さん、女性会員入会に力を入れて頑張ってください。それから2月28日(日)はいわき分区分のIMがあり参加された皆さん大変ご苦労様でした。帰りの夜は寒くなり無事帰ることが出来てなによりでした。それでは本日外部卓話をお願い致しましたお客様をご紹介します。福島県骨髄バンク推進連絡協議会会長の岩城汀子様、運営委員の志賀としえ様です。後程ご挨拶と卓話を頂戴することになっておりますのでどうぞ宜しくお願いします。

◎幹事報告 - 斉藤 隆幹事

・本日鈴木雅之会長と添田会計が早退しておりますが、理事会は予定通り行いますので例会終了後理事者の方は宜しくお願いします。
・昨日3月1日に磐城農業高等学校で卒業式が行われました。鈴木会長と岩元副幹事と嵐青少年奉仕委員長が出席し大変素晴らしい卒業式でしたということをご報告下さいと伝言を預かりましたのでご報告致します。
・いわき経済同友会からいわき12号、いわき平中央ロータリークラブ、いわき平ロータリークラブ、いわき鹿島ロータリークラブ、いわき小名浜ロータ

君が代

ロータリーの目的 佐藤政司副会長

ー今月は水と衛生月間ですー

リークラブ、いわき平東ロータリークラブより3月のプログラムが届いておりますので回覧中です。
・なご授産所様から先日鈴木会長と私で行って参りました礼状が届いておりますので回覧致します。

◎各委員会報告

◇出席委員会 - 鈴木小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。

◇スマイルボックス委員会

ー山下副委員長

・福島県骨髄バンク推進連絡協議会会長岩城汀子様、運営委員志賀としえ様の卓話を歓迎して。山下、富岡、鈴木(泰)、清水、生駒、橋本、渡邊(國)、鈴木、添田、木幡、赤津(善)、越田和、後藤、荒川(義)、丹野、吉野、川口、田子、高萩、嵐、押田、鈴木(修)、関川、鈴木(孝)、浜津、金成、大平各会員及び渡邊公平バスターガバナー、鈴木雅之会長、佐藤政司副会長、富澤会長エレクト、斉藤幹事、岩元副幹事
・3月1日母静枝百歳賀寿ありがとうございました。

赤津善宣会員
・誕生祝ありがとうございました。
富岡、木幡、吉野、押田、内藤各会員
・ロータリー愛好会ゴルフで2ヶ月続けて優勝させて戴きました。 田子会員
・本日早退ごめんさい。 鈴木雅之会長

◇親睦活動委員会 - 清水小委員長

親睦活動委員会より今月誕生日の方へ誕生日祝を差し上げたいと思います。名前をお呼びしますので前

の方へどうぞ。押田会員、木幡会員、吉野会員、内藤会員、富岡会員おめでとうございます。



それから来月4月は観桜会が予定されております。日時は4月10日(日)場所は宮城県松島です。出欠案内をお送り致しますので大勢のご参加宜しくお願い致します。

◎プログラム委員会 - 鈴木泰行小委員長

プログラム委員会からのご案内ですが3月16日に当ひまわり信用金庫ふれあい農園を見学するというので会員の皆様へファックスを送らせて戴いております。3月16日は通常通りホテルミドリさんに集合して戴き、例会を行い各委員会報告が終了する1時頃になりましたら平にあるふれあい農園へ移動する予定です。

◎ゲスト挨拶 福島県骨髄バンク推進連絡協議会

会長 岩城 汀子様
本日は、勿来ロータリークラブ様で骨髄バンクのお話をさせて戴く機会を戴きましたこと心より感謝申し上げます。日本骨髄バンクは昨年12月で25年を迎えることが出来ました。福島県の中でもいわき支部が一番早く設立され25年を迎えることが出来ております。初めの頃の骨髄バンクの集りは月に1回の勉強会が共立病院でありました。25年前は辛いことが多く顔を覚えたり挨拶出来る仲間が帰らぬ人になった時代がありました。25年が過ぎバンク登録者数も45万人を数えることが出来、骨髄移植も年間1,300件を超えるようになり、これからはお話をして戴く志賀としえさんも旦那さんも元患者で集りに行っても明るく皆で元患者ですと言ってボランティア活動をして下さる方が沢山増えて本当に明るい気持ちで、そして命に直結する骨髄バンクボランティア活動を私達会員一同一生懸命推進して行こうという気持ちで頑張っております。今日は志賀としえさんのお話を聞いて戴きまして皆様に今後共骨髄バンクに対しご理解戴き協力をお願い致します。どうぞ宜しくお願いします。

◎外部卓話 福島県骨髄バンク推進連絡協議会

運営委員 志賀としえ様
皆さん、今日は。福島県骨髄バンク推進連絡協議

会でボランティア活動をしています志賀としえと申します。私は宮城県気仙沼市出身です。15年前に私は結婚をしていわき市小名浜に嫁いで参りました。今こんなに元気な体で活動をしていて私の事を何も知らない方は保険のセールスと間違われるかもしれませんが、今から20数年前まで生死にかかわる大きな病気でした。その体験から命の尊さについてお話をしたいと思ひます。私が病気になるのは平成5年12月のことです。22年前になります。私の病気は急性骨髄性白血病と診断されました。しかし、私には白血病という病名は告知されませんでした。それは、私の両親が主治医の先生に娘には言わないで下さいとお願いしたからです。22年前は日本の骨髄バンクが出来て2年か3年で両親は骨髄バンクという組織すら知りませんでしたし当時は白血病イコール死んでしまうというイメージしかありませんでした。先生から病名を聞き母はその場で泣き崩れどうやって家に帰ったかも覚えていなかったと後で聞きました。私の病気がすぐに入院し治療しなければなりません。5日間総合病院で入院生活しその後東北大学病院へ転院し治療が始まりました。抗がん剤治療はものすごい副作用が付きまといまいます。吐き気や高熱、下痢の症状が出ます。私自身の体の抵抗力がどんどん落ちていくので無菌室という個室に入りました。気仙沼から母が電車で付き添いに来てくれましたが、24時間一緒に過ごす私は具合が悪いのでどんどんストレスが溜まっていきました。22年前は携帯電話が普及していませんので外との連絡のやりとりが出来ずストレスの要因になりました。そして母に八つ当たりし自己嫌悪する毎日でした。入院中自分を見つめなおして見ると病気になって立ち止まっている自分に気付きました。その時このままだと私は病気に負けてしまうという思いがありました。職場の先輩が持って来てくれた本の中にこんなことばがありました。それは「苦しみを乗り越えれば自分の強さになる。」と書いてあり、いまの自分に一番必要な言葉だと思ひ入院生活を続けました。その後病状は安定しましたが再発の恐れがあることから平成7年9月に骨髄移植を受けることが決まりました。骨髄移植を受けるときには必ず合わなければならないのは白血球の型です。白血球の型は何万通りもあり自分と同じ白血球の型の人を捜すのは非常に困難なことです。そこで私自身も骨髄バンクに登録していらした方から提供してもらおうことになりました。その他骨髄バンクの貴重なお話を聞きすることが出来ました。



出席状況	正会員数 本日の出席率	51名 82.35%	本日出席会員数 修正出席率	42名 86.27%
------	----------------	---------------	------------------	---------------